

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

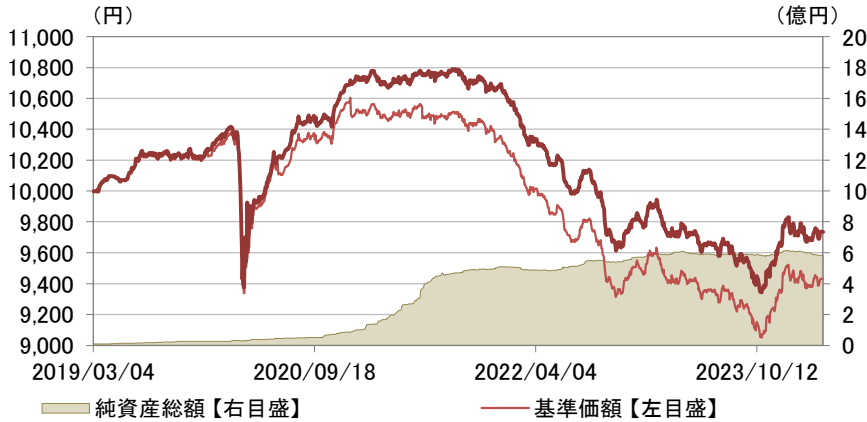
月次レポート

2024年
03月29日現在

追加型投信／内外／債券

為替リスク軽減型

■ 基準価額および純資産総額の推移



- 基準価額(分配金再投資)【左目盛】
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.6%	-1.0%	3.1%	0.2%	-8.8%	-2.6%

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	9,431円
前月末比	+52円
純資産総額	5.84億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

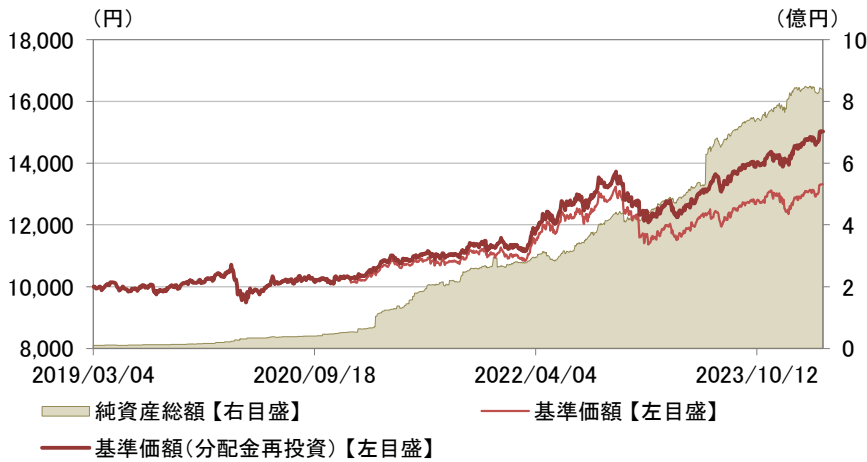
決算期	決算日	分配金
第10期	2023/12/20	0円
第9期	2023/06/20	0円
第8期	2022/12/20	0円
第7期	2022/06/20	0円
第6期	2021/12/20	60円
第5期	2021/06/21	60円
設定来累計		330円

■ 資産構成

	比率
投資信託証券	98.6%
ブラックロック・グローバル・ファン ズ・フィクスト・インカム・グローバ ル・オポチュニティーズファンドーク ラスシエアーズ・ディストリビュー ティングシェア・円ヘッジ	98.6%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.4%

為替ヘッジなし

■ 基準価額および純資産総額の推移



- 基準価額(分配金再投資)【左目盛】
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■ 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.3%	7.8%	7.6%	20.9%	37.2%	50.3%

■ 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	13,310円
前月末比	+174円
純資産総額	8.40億円

■ 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第10期	2023/12/20	390円
第9期	2023/06/20	370円
第8期	2022/12/20	310円
第7期	2022/06/20	100円
第6期	2021/12/20	80円
第5期	2021/06/21	70円
設定来累計		1,460円

■ 資産構成

	比率
投資信託証券	98.2%
ブラックロック・グローバル・ファン ズ・フィクスト・インカム・グローバ ル・オポチュニティーズファンドーク ラスシエアーズ・ディストリビュー ティングシェア・円建て	98.2%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%
コールローン他	1.8%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。・分配金実績がある場合は、ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

月次レポート

2024年
03月29日現在

追加型投信／内外／債券

実質的な投資を行うブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドの運用状況

■ポートフォリオ特性

	ファンド
平均利回り	5.4%
デュレーション	3.4
平均格付	BBB+

・平均利回りは最低利回りを使用しています。

■資産構成比

セクター	比率
証券化商品	29.3%
国債および地方債	24.5%
投資適格社債	9.1%
新興国債券	18.2%
ハイ・イールド社債	18.7%
その他	1.4%
現金他	-1.2%

・各セクターにおける分類はブラックロックによる分類です。

■組入上位国

国・地域	比率
1 アメリカ	79.1%
2 イギリス	34.9%
3 ブラジル	4.3%
4 スペイン	4.3%
5 ドイツ	3.9%

■組入上位通貨

通貨	比率
1 米ドル	98.3%
2 ブラジルレアル	0.9%
3 インドルピー	0.7%
4 メキシコペソ	0.6%
5 南アフリカランド	0.5%

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	4.9%
AA格	26.5%
A格	13.6%
BBB格	21.4%
BB格	16.7%
B格	8.6%
CCC格以下	4.3%
無格付	3.9%

・格付はS&Pの格付を使用しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 3,313銘柄

銘柄	比率
1 UMBS 30YR TBA	7.5%
2 UMBS 30YR TBA(REG A)	6.9%
3 TREASURY BOND 2.875 05/15/2052	2.4%
4 TREASURY NOTE 2.875 05/15/2032	2.0%
5 SPAIN (KINGDOM OF) 2.55 10/31/2032	1.2%
6 FNMA 30YR UMBS SUPER	1.1%
7 FHLMC 30YR UMBS	0.6%
8 TREASURY NOTE 1.125 02/15/2031	0.5%
9 INDIA (REPUBLIC OF) 7.37 10/23/2028	0.5%
10 TREASURY BOND 3.25 05/15/2042	0.4%

・上記の「組入上位10銘柄」一覧表では以下の略称を使用しています。

FNMA: ファニーメイ。米国の連邦住宅抵当公庫。

GNMA: ジニーメイ。米国の連邦政府抵当金庫。

UMBS: ユニフォームMBS。ファニーメイとフレディ・マック(連邦住宅抵当貸付公社)が統一プラットフォームで発行するモーゲージ証券。

FGOLD: フレディ・マックが発行するモーゲージ証券。

・ブラックロック・ジャパンの資料に基づき作成しています。
・比率はブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドの純資産総額に対する割合です。
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

■運用担当者コメント

【市況動向】

当月は、米国債券市場では、主要中央銀行による利下げ観測などを背景に、米国の長期金利は低下しました。また米国社債市場では投資適格社債や高利回り社債の国債との利回り格差が縮小しました。

【運用状況(分配金実績がある場合、基準価額の騰落率は分配金再投資ベース)】

- ・当ファンドでは、外国投資信託への投資を通じて、世界各国の様々な通貨建ての幅広い種類の債券やそれらの派生商品などに分散投資を行っています。
- ・当月は、新興国債券などへの投資を増やした一方、投資適格社債などへの投資を減らしました。

■ 為替リスク軽減型

・為替変動の影響を受けにくくするための為替取引費用などがマイナスに作用したものの、一部の保有債券の価格が上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

なお、投資する外国投資信託において、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り・円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■ 為替ヘッジなし

・一部の保有債券の価格が上昇したことや米ドルが円に対して上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。なお、米ドルは、日米の中央銀行による金融政策の公表を受け、日米の金利差が開いた状況が続くとの見方が強まったことなどから対円で上昇しました。

【運用環境の見通しと今後の運用方針】

- ・足元米国では根強いインフレと景気の底堅さが見られる中、今後の米連邦準備制度理事会(FRB)の金融政策動向を注視しています。
- ・上記をふまえ、慎重に運用を行う方針です。

(運用責任者: 笹井 泰夫)

・ブラックロック・ジャパンの資料に基づき作成しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得および利子収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

特色1 日本を含む世界各国の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行います。

・外国投資法人の円建ての投資信託証券(以下、投資対象ファンドといいます。)*を主要投資対象とします。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

*投資対象ファンドの名称は以下の通りです。

(為替リスク軽減型):ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円ヘッジ

(為替ヘッジなし):ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て

・幅広い種類の債券とは、国債および地方債／社債／証券化商品等です。ハイ・イールド社債等の投資適格未満の債券や新興国の発行体が発行する債券にも投資を行う場合があります。

<投資対象資産>

国債および地方債…政府等により発行される債券および地方自治体により発行される債券

投資適格社債…企業等により発行される債券で、信用格付けが高い(BBB格以上)とされる債券

ハイ・イールド社債と比べて信用力が高く、安全性が高いため、相対的に利回りは低くなる傾向がある。

ハイ・イールド社債…企業等により発行される債券で、信用格付けが低い(BB格以下もしくは格付けされていない)債券

国債と比べて信用力が低い分、相対的に利回りは高くなる傾向がある。

新興国債券…発行体の所在国が新興国である、または新興国通貨建ての債券

先進国の債券と比べて信用力が低い分、相対的に利回りは高くなる傾向がある。

証券化商品(資産担保証券、モーゲージ証券等)…クレジットカード、自動車ローン、住宅ローン等のローン債権を担保として発行される債券

金利が低下した場合、期限前償還が増加する傾向がある。

・派生商品とは、債券など元になる金融商品(原資産)から派生した取引をさし、原資産の価値に依存してその価格・価値が決まるものです。

・当ファンドにおいては先物取引のほか、金利スワップ取引やオプション取引等を行う場合があります。また、上記の債券等が組入れられない場合や、上記以外の有価証券等が組入れられる場合があります。

特色2 中長期の市場見通しに基づいた資産配分および個別銘柄選定を行うことで、収益の獲得をめざします。

・リスクの適切な管理および変化する市場にあわせて継続的にポートフォリオの見直しを実施します。

・債券のみならず派生商品も活用し、効率的なポートフォリオ構築をめざします。

・派生商品の活用においては、買い建てた派生商品の取引等(ロング・ポジション)と売り建てた派生商品の取引等(ショート・ポジション)の差額が投資対象ファンドの純資産総額を上回ることがあります。

特色3 投資対象ファンドの運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*が行います。

*ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク、ブラックロック(シンガポール)リミテッド、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(オーストラリア)リミテッド(副投資顧問会社)のことをいいます。

特色4 (為替リスク軽減型)、(為替ヘッジなし)が選択できます。

・(為替リスク軽減型)は、原則として投資する投資対象ファンドにおいて、当該投資対象ファンドの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

・(為替ヘッジなし)は、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色5 年2回の決算時(6・12月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・原則として、配当等収益の水準を考慮して分配します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

・ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

<投資対象ファンド>

ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円ヘッジ((為替リスク軽減型)が投資します。)

ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て((為替ヘッジなし)が投資します。)

マネー・マーケット・マザーファンド

・各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	<p>主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる有価証券等の価格変動の影響を受けます。</p> <p>債券の価格は、市場金利の変動の影響を受けて変動します。一般に市場金利が上がると、債券の価格は下落し、組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。市場金利の変動による債券価格の変動は、一般にその債券の残存期間が長いほど大きくなる傾向があります。</p> <p>【派生商品の取引等に関するリスク】</p> <p>派生商品の取引等は金利変動、為替変動等を受けて価格が変動するため、ファンドはその影響を受けます。買い建てた派生商品の取引等(ロング・ポジション)の価格が下落した場合、もしくは売り建てた派生商品の取引等(ショート・ポジション)の価格が上昇した場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。特に、ロング・ポジションの価格が下落する一方、ショート・ポジションの価格が上昇した場合には、基準価額が大幅に下落することがあります。</p> <p>また、派生商品の取引等は、少額の証拠金をもとに多額の取引を行うため、損失が発生した場合には、金利変動、為替変動等の影響が増幅され、多額の損失をもたらす場合があります。</p>
為替変動 リスク	<p>主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。</p> <p>■グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)</p> <p>原則として投資する投資信託証券において、当該投資信託証券の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、組入通貨のうち、米ドル以外の通貨については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。なお、円の金利が米ドルの金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。</p> <p>■グローバル・インカム・フルコース(為替ヘッジなし)</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。</p>
信用 リスク	<p>有価証券等の発行体等の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、有価証券等の価格が下落(債券の場合は利回りが上昇)すること、利払いや償還金の支払いが滞ること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。</p>
流動性 リスク	<p>有価証券等を売買しようとする際に、その有価証券等の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。</p>
カントリー・ リスク	<p>ファンドは、新興国の有価証券等に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。</p>
低格付債券 への 投資リスク	<p>ファンドは、格付けの低い債券等に実質的に投資する場合があります。格付けの高い債券等への投資を行う場合に比べて、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。</p>
期限前償還 リスク	<p>一般的に金利が低下した場合、証券化商品(資産担保証券、モーゲージ証券等)の担保となるローンの期限前返済が増加し、資産担保証券の期限前償還が増加することがあります。そのため当初期待した利回りでの再投資ができない可能性、もしくは証券を額面価額より高く購入している場合、償還損を被る可能性等があります。</p>

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
 - 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 - 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
 - ・投資対象ファンドにおいては、信用リスク管理上、政府機関の発行または保証する有価証券、およびそれらと同等と判断した銘柄^(※)について、同一発行体でファンドの純資産総額の10%を超えて保有する場合があります。
- (※)には、米国の連邦住宅抵当公庫(ファニーメイ:FNMA)および連邦住宅抵当貸付公社(フレディ・マック:FHLMC)が発行または保証するモーゲージ証券等が該当します。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ルクセンブルクの銀行の休業日 ・12月24日 ・投資対象とする外国投資法人の投資信託証券の申込受付停止日 ただし、やむを得ない事情が発生した場合において委託会社の判断により、上記以外でも申込みの受付を停止する場合や、上記であっても申込みを受け付ける場合があります。 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の購入および換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
スイッチング	各ファンド間でのスイッチングが可能です。 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。 くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	2029年6月20日まで(2019年3月4日設定)
繰上償還	各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、ファンドが投資対象とする投資対象ファンド(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)のいずれかが償還することとなった場合には繰上償還となります。
決算日	毎年6・12月の20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。くわしくは、販売会社にご確認ください。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限1.65%(税抜 1.50%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率0.6325%(税抜 年率0.5750%) をかけた額
運用管理費用 (信託報酬)	投資対象とする 投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.50% (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) ※投資対象とする投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。投資対象とする投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができないため表示しておりません。
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に対して 年率1.1325%程度(税抜 年率1.0750%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

- | | |
|--|--|
| ●委託会社(ファンドの運用の指図等)
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会 | ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)
三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| <ホームページアドレス> https://www.am.mufig.jp/
<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034
(受付時間 営業日の9:00~17:00) | |

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

2024年03月29日現在

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)／(為替ヘッジなし)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
JAバンク(JA/信連/農林中金) ※お取扱については、各JAバンクまたは委託会社までお問い合わせください。(注)一部のJAバンクではお取扱がない場合がございます。						